

2011 年 11 月 30 日

第 42 回東京モーターショー2011、MINI スピーチ
Dr. イアン・ロバートソン
セールス・マーケティング担当上級副社長

東京モーターショーに、ニューMINI が登場して以来、今年 2011 年でまる 10 年を迎えました。この 10 年の間に、かつてキュートな英国車として知られた MINI はグローバル・ブランドへと成長しましたが、MINI の伝説のこの新しい段階は、実はまだ始まったばかりです。

MINI ブランドの進化にとって最も重要なこと、それはもちろん MINI ファミリーを育てることであり、MINI ではまさにその取り組みを進めて参りました。ハッチに続いて、コンバーチブル、そして MINI クラブマンを導入し、そして約 1 年前には MINI クロスオーバーを発表しました。

このクロスオーバーはおかげさまで販売が好調で、MINI がまったく独自のコンセプトを編み出しつつブランドを育成する力を備えていることを証明するモデルとなっています。

MINI ファミリーはちょうど人間の家族のように、それぞれ独自の個性を持つモデルがその持ち前を生かし、MINI の世界的な成功を支えています。2011 年は 10 月末までの MINI 全体の累計販売台数が 23 万 2,000 台超と、前年同期に比べて 23% 増となっており、通年で MINI 史上最高を記録する見込みとなっています。この継続的で力強い成長により、MINI は対象セグメントにおけるトップ・プレミアム・カーとして、頂点に立っています。

日本では 2002 年の発売以来、累計販売台数は 12 万台を超えています。2002 年から 2006 年だけを見ても、初代の MINI で累計販売台数は 6 万台超を達成、MINI の歴史に大きな足跡を残しました。2011 年は 10 月末までで、ほぼ 1 万 2,000 台となっています。日本で、これだけのヒットとなったわけは簡単です。それは、卓越したデザインを誇る MINI が、コンパクト・プレミアム・カーという新しいセグメントを切り開いたからにほかなりません。

さて、皆様すでにご存じのこととは思いますが、2 年前に MINI 誕生 50 周年を迎え、その一環として 2 つのコンセプト・モデルの予告内覧会を行いました。それが、MINI クーペと MINI ロードスターです。クーペは最近発売となり、世界的に好調な販売を記録しています。のちほど詳しくご覧いただきますが、日本のお客様にもきっと気に入っていただけたと思います。東京のような街を探検して回るのにぴったりのパートナーとなることでしょう。販売はすでに開始していますので、今晚お帰りの途中にも何台か皆様のお目に留まるかもしれません。

このクーペは MINI ファミリー 5 番目のメンバー、そして、つい数週間前にお披露目した新型ロードスターは 6 番目のメンバーとなりました。

しかし、皆様ご存じのとおり、MINI はひとときも立ち止まることはありません。今はすでにファミリー 7

番目のメンバーを開発する作業に全力で取り組んでいます。それが MINI ペースマン・コンセプトです。

このように、つねに次を模索していくのが MINI なのです。

クーペはこれまでの MINI で最も速いモデルに属していますが、速いのは走行性能だけではなく、構想から量産までの時間もわずか 2 年とスピーディに進められました。

クーペは次のような MINI のきわめて大胆な要素を取り入れています。

- 目を惹くルックス: 斬新であると同時にひと目で MINI ファミリーの一員とわかるデザインを備えています。
- ゴーカートのようなスポーティでスリリングな走り: 211 馬力のジョンクーパー・ワークス・エンジンをオプション設定しています。
- 独自装備: 時速 80km/h で自動的にせり上がるリア・スポイラーなどを搭載しています。

それでは皆様こちらへどうぞ。ファミリー5 番目のメンバーとなった MINI クーペをじっくりとご覧下さい。